

教員の取得学位及び主な著書・論文等

◆職 位：教授

◆氏 名：心光 世津子

◆取得学位：博士(人間科学)

◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月(西暦)	巻	号	頁
『必携！ 精神看護学実習ポケットブック』第2版	野中浩幸, <u>心光世津子</u> , 乾富士男編	精神看護出版	2019年4月			
精神科長期入院患者の退院支援における課題－長期入院を体験した統合失調症をもつ人の語りを通して－	鷲忍, 實田穂, <u>心光世津子</u>	日本精神保健看護学会誌	2018年6月	27	1	91-99
特集よい論文とは？おもしろい論文とは？「素朴な疑問への答えを探し続けること」	心光世津子	看護研究	2016年10月	49	6	480-482
地域に暮らす精神障害者の家族の捉える「回復」に関する一考察	心光世津子	武庫川女子大学看護学ジャーナル	2016年3月	1		63-68
『必携！ 精神看護学実習ポケットブック』増補版	野中浩幸, 乾富士男, <u>心光世津子</u> 編	精神看護出版	2014年9月			
日本における統合失調症患者家族の続柄ごとの精神的負担の特徴－過去10年間に刊行された文献の内容分析から－	平祥子, <u>心光世津子</u> , 遠藤淑美	大阪大学看護学雑誌	2013年3月	19	1	9-15
第V章 量的研究のシステムティックレビュー	諏訪敏幸, <u>心光世津子</u> , 山川みやえ	牧本清子編『エビデンスに基づく看護実践のためのシステムティックレビュー』日本看護協会出版会	2013年12月			59-73

第VI章 質的研究のシステマティックレビュー	心光世津子	牧本清子編『エビデンスに基づく看護実践のためのシステマティックレビュー』日本看護協会出版会	2013年12月			75-91
実践レポート「精神看護学実習にICF(国際生活機能分類)の視点を導入する試み」	心光世津子, 遠藤淑美, 諏訪さゆり	精神科看護	2013年4月	39	5	41-49
JCEBPの活動からわが国の研究と研究者育成の質保証を考える	伊藤美樹子, 山川みやえ, 心光世津子, 竹内佐智恵	看護研究	2012年1月	45	1	47-52
量的研究のシステマティックレビュー	諏訪敏幸, 心光世津子, 山川みやえ	インターナショナルナーシングレビュー	2011年6月	34	4	32-39
質的研究のシステマティックレビュー	心光世津子	インターナショナルナーシングレビュー	2011年6月	34	4	40-47
臨床と研究をつなぐネットワーク: The Japan Centre for Evidence Based Practiceの活動	心光世津子, 伊藤美樹子, 山川みやえ, 福録恵子, 牧本清子	精神科看護	2010年11月	37	219	52-53
『必携! 精神看護学実習ポケットブック』初版	野中浩幸, 乾富士男, 心光世津子編	精神看護出版	2010年9月			
精神看護学実習のためのICFの視点を取り入れた看護過程自己評価表の開発	心光世津子, 遠藤淑美, 諏訪さゆり	日本精神保健看護学会誌	2010年6月	19	1	74-83
保健医療分野における当事者の語りと当事者性の形成—断酒会会員の語りと当事者性に焦点を当てて—	心光世津子	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	2010年3月	36		59-80
精科看護学実習へのICFの視点導入に向けた研究(第3報)—実習記録改訂前後の学生による自己評価の年度別比較—	心光世津子, 遠藤淑美, 諏訪さゆり	大阪大学看護学雑誌	2010年3月	16	1	49-58

精神看護学実習へのICFの視点導入に向けた研究(第4報)ー自己評価表にみる実習記録改訂前後の学生の苦手傾向の変化と教育課題ー	<u>心光世津子</u> , 遠藤淑美, 諏訪さゆり	日本看護学会論文集-看護教育-	2010年2月	40		257-259
繰り返される飲酒運転に潜むアルコール依存症の発見と介入ーアメリカ・テキサス州における保護観察対象者への対応に学ぶものー	心光世津子	交通安全教育	2009年6月	44	7	6-15
精神看護学実習へのICFの視点導入に向けた研究第2報ー自己評価表自由記述にみる学生の傾向と教育課題ー	遠藤淑美, <u>心光世津子</u> , 諏訪さゆり	大阪大学看護学雑誌	2009年3月	15	1	9-18
精神看護学実習へのICFの視点導入に向けた研究(第1報)ー自己評価表の分析にみる精神看護学実習受講生の苦手傾向と教育課題ー	<u>心光世津子</u> , 遠藤淑美, 諏訪さゆり	大阪大学看護学雑誌	2009年3月	15	1	1-8
精神科病棟における居室性を兼ね備えた保護室のメリットとデメリット	篠原有美, 遠藤淑美, <u>心光世津子</u>	大阪大学看護学雑誌	2008年3月	14	1	11-19
アルコール依存症者のライフストーリーにみる我が国の飲酒規範	心光世津子	保健医療社会学論集	2008年3月	18	2	95-107
6章 アルコール依存症と医療化	心光世津子	森田洋司監修, 森田洋司, 進藤雄三編『医療化のポリティクスー近代医療の地平を問う』学文社	2006年9月			115-127
10章 アルコール医療とセルフヘルプ・グループ	心光世津子	山中浩司編『臨床文化の社会学ー職業・技術・標準化』昭和堂	2005年2月			269-295
断酒に至る認識変容過程ー断酒会会員を例としてー	心光世津子	看護研究	2002年6月	35	3	239-249

◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名
学際的アプローチによる精神科病棟看護における自己決定支援の視点・要件の可視化(研究代表者)	2019年4月～2023年3月	文部科学省平成31～34年度科学研究費補助金(基盤研究(C))
ポスト工業社会における男性の健康と医療化(研究分担者)	2012年4月～2015年3月	文部科学省平成24年度～26年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究代表者:山中浩司
日本における精神障害からの「リカバリー」の包括的理解と支援のための実証的基礎研究(研究代表者)	2011年4月～2014年3月	文部科学省平成23～25年度科学研究費補助金(若手研究(B))
超領域アプローチによる東アジアの高齢者ケアシステムの構築(研究分担者)	2010年8月～2012年3月	大阪大学グローバルコラボレーションセンター平成22・23年大阪大学GLOCOL共同研究(学内連携)研究代表者:牧本清子
「生き方死に方を考える社会フォーラム」形成のための社会実験(研究分担者)	2010年4月～2013年3月	文部科学省平成22年度～24年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)研究代表者:山中浩司
精神看護学実習へのICF(国際生活機能分類)の視点導入に向けた実習教材開発(研究代表者)	2008年4月～2010年3月	日本科学協会平成20年度・21年度笹川科学研究助成金(実践研究部門)
飲酒運転抑止における看護師の寄与に関する研究(研究代表者)	2007年10月～2009年3月	文部科学省平成19・20年度科学研究費補助金(若手研究スタートアップ)
臨床文化の行方—医療の標準化と臨床文化—(研究分担者)	2004年4月～2007年3月	文部科学省平成16～18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究代表者:山中浩司
当事者性の社会学—自助=互助成立のメカニズム(研究代表者)	2003年4月～2006年3月	文部科学省・日本学術振興会平成15～17年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)